

特に父兄に望みたい

高い月給給與を養成する所。若しその指導をたらむ
ではない、同時に吾々教育欲。その中でも、只机上の
者の理想は全國大學卒業證に走らせ、博士や學士
生が漲り、寒村に駐在す。は心許せない。矢張り、鋤
の一巡登も法學士であり、電車の入、ハンマーを握つた人
の選擧も大學機械科の中から現れて始めてその
卒に工學士であるやうに誰人達も、環境を知る事が出来る

2) 高田 涙川作

(4) 尾崎 雪麿齋

重太郎の危機

「ハテ不思議である、今頃潮參から尋ねて來るなそのわけはない、こりや事によつて佐原 熊五郎の身内が仕返しにきたか知れぬ」

重太郎はこう胸にうかんだが、少しも油断せず床の上に座り待つ

銚子の傳吉は二階へ上る
や否や、そう叫んで重太郎
に追らんとする、これに向
ふ勢發を示しつゝ重太郎は
矢庭に兩戸をはずつて通り
の方へ飛び下りた

「ソレツ、野郎は逃げた追
つかけろ、にがすな」

重太郎は無益に人の命を
傷へを直しつゝしばしの間ば
上段下段と戦ふ、しかも如
の使ひ手といはる二人、大
太郎は今までの働きに、重
つかれてゐる上に、きずつた
へ負ふてゐる、傳吉は勇
標々、しかも數度、のけん
くわ、搦かすをふみ且つ劍
豪とならしたそうきつ先き

り立てられ受け太刀となつた傳吉は劍道を以て能に立つてゐる人體であるからその勝負は十分に勝たれどわかると太刀はます／＼研えてくる。それに返して重太郎は傳吉といふ大敵を重太郎に廻し誰一人助力する者はない「エーツ残念だ、今こゝで捨てる命を惜しむではないが父や母の見送りもいたさず、又善兵衛父子に恩返しもせずこの世を終るさといかなる悪業だらう阿どかして一先づこゝを切り抜けたらまいか、どうか工夫はあらまいか」

重太郎は胸に答へてゐる中に傳吉の太刀先は層一層の鋭さを加へて追つてくる

吉 明
 の 日
 曆 舊
 日 七 二 月 二
 曆 新
 日 八 十 月 三

「ハイ、只今開けまする」
下では女中が表戸を開け
バラ／＼と亂入して來
ては向ふ鉢券綱襷二刀を腰

取ることを好まず身に振
りかゝる火の粉は拂はねばな
くぬがなるべく相手に傷々
けぬ様、少年ながら天晴
倒れてゐる子分の流るる

時に十五夜の月は皎々とし
て沖天に輝きわたり蝨を欺
く如く、そここゝと傷つき

て出来るもの亦否むべからず。▲一白 新規學業を企つゝ
さる事だ。現に今地方では尤も吉一路直進せよ▲三
學卒業生はおろか大學卒 慕 人の信用を得て立身出
衆生で身に定職なくブラツ 世すべし物始めの吉▲三碧
てゐる輩が大分あると聞 進路を誤り易きは自重警戒
さうして人達は果して してあせんなかれ▲四綠
血のためになる事を働いて 小利に移りて大利を逸
るが。越越級の痛たされ し易し注意肝要▲五黃 商
に世を呪ひ世の轉覆々 事は注意すべきも他の事は
立てつゝある者もあるだけ 凡て進みて吉▲六白 約束
いか。學問の中毒、高等 こと金談ことは憂ひ々發
民の増加有機的社會の發 殘す恐れあり▲七赤 心を
のためにこれ位危険なも かへ業を移すは面白からず
は又であるまい。
が現代の日本は完 是多くとも萬學迅速に解決
民衆を一人でも多く し行ぐべし▲九紫 必落付
。一人頭農民、一 けす爲すこと多くは失敗に
職上が潰れて職を求 陥り易し

思ふに違ふ、お熊五郎身内

の心掛けである、こゝへか
りつけた傳吉に金藏は大勢
の兎分に指圖した三人の重
太郎を前後左右にとり廻い
重太郎はどればど捌らげ
かためさんのもとと貞宗の
刀を大上段に振りかぶり
ユーツ……ユーツ……ユーツ……
ヤリン……近寄る者は川
べとばす、十六歳の若年
れど修練をつんだ一刀流
切つ先き物凄く容易に傍
よらないヤしかし相手は
御知らずの連中であらから
ノカノ／＼後へ引かぬ、重太
郎は四方八方に敵を受け身
に數ヶ所の傷を負ふた、い
ままもこうはしておれぬ

血潮を照しその物姿さばい
わんばかりもなかつた

廣 告

鼻のクスリ
チケノール錠
痔の最高内服薬
ダイサン錠
平岡五丁目角
山野邊薬局
平岡田町通り

磐城病院

電話 一一四番

平町田町

高久病院

電話五一三番

醫學士 高久 忠
新海醫學士 赤羽 清
藥劑士 佐竹 菊雄

內科 小兒科
外科 花柳病科
耳鼻喉科
眼科

レントゲン科

營業種目

內地材

材木各種、羽柄材各種
建築諸材請負
礦山用坑木其他諸材請負

外材部

米松、米杉、大角製材調達
請負其 他

佐藤材木店

常磐線平町 新川町
電話 三三五番

一家團樂には
蓄音器に限る
新譜色々取揃へ
て有ます
平町四丁目
會田時計店
電話三六三

學生カバンと
學生帽子

平町四丁目
ツルヤ商店
電話百四十番

生花教授

池ノ坊流 生花を懇切丁寧に
教授いたします。た遊びがてら御
で下さい。

須臾

日東のラジオ
最新高級の

ラジカ製造販賣
並に部分品提供
當分の間奉仕的破格値段

三球セツト取付共
A 百貳拾五圓
B 百圓

御用命次第店員をお伺ひ致させ懇
御相談に應じます。

平町白銀町
日東商會
電話四二八

